

外反母趾 (がいはんぼし)

外反母趾は生活の洋風化や長寿化にともなって最近、女性を中心に急増している疾患です。徐々に進行して変形が悪化しますと、疼痛のため通常の靴を履くことが困難になります。矯正バンドが各種市販されていますが、根本的な矯正作用は期待できません。痛みによる歩行困難と靴選び困った場合には手術の適応が考えられます。手術は変形の程度に応じて段階があり、変形が強くなるほど必要な手術も大がかりになります。重症化する前に軽い手術で治してしまうことが秘訣といえそうです。

手術による矯正例

1、中等度変形に対する手術 (遠位骨切り術)



手術前

手術後

2、重度の変形に対する手術例 (斜め骨切り術)



手術前

手術後